

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	地域福祉サービスセンター ソレイユ	公表日	令和8年 2月 19日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	・ご利用児の障害程度に応じ、配置基準以上の職員配置をし、安全の確保や支援の充実を図っている。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	・ワンフロア、バリアフリー構造の為、どのご利用児も過ごしやすい環境となっている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	・机の高さ、配置、必要に応じマットを出すスペースがあるなど、活動に合わせた空間が出来ている。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	2	・個別の空間はないが、仕切ればクールダウンや休息できる和室がある。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1	・月一回の支援会議にて個々の支援の振り返りを行い、課題の整理、支援方法の確認をする時間を設けている。 ・毎月の支援目標の設定を支援表に記入し、すぐに確認出来るようにしてある他、日々の記録、月々の評価も行っている。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・月に一回の支援会議の際支援の確認の他、職員の困り事がないか等の意見の吸い上げも行っている。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4	・外部評価は導入していないが、外部（地域、ボランティア、来訪者等）の目、意見は重視している。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・業務上時間の確保が難しいが、所内外様々な研修になるべく多くのスタッフが参加できるよう、参加状況を確認しながら調整している。
支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	・広報誌等に支援の様子を載せ、営業活動の際、相談支援専門員に説明する機会がある。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	・アセスメントをし意向確認できるご利用児が少ない為、日々の様子から分析し計画を策定している。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・スタッフ全員が療育の振り返り（評価）を行い、課題の抽出を行い、多くの視点で検討出来るようにしている。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	・月間の支援表に目標を記入し、全職員が常に確認出来る状態にしてあり、計画に沿った支援が行えるようにしている。
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	・事業所独自のアセスメント表を用いアセスメントを行っている。 ・日頃の行動観察をし、記録に残し振り替えられるようにしている。

適切な支援の提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	・目標は細分化して分かりやすいしている。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1		・多職種との連携は図っているが、支援プログラムの立案は支援員が中心となっている。立案の段階から入ってもらえたと良い。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・ご利用児個々の特性や障害状況に応じて、都度振り返りを行いながら、固定化しないよう工夫している。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	・個別支援計画やご利用児の特性に合わせ、個別や集団等変化を付け支援を行っている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	2	・ホール担当か入浴担当か役割分担を行っている。	・予め活動の打ち合わせをするようにしているが、毎日は行えていないため、ご利用児に事前に伝える事が出来ない事がある。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1		・支援スタッフが送り対応もしている為、日によっては終わってからの振り返りが行えない事もある。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・日々の支援記録の記入の他、月の終わりには支援のまとめをし、支援内容の検証を行っている。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6	2		
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	・小さい事でも自己選択できるを機会を持っている。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	・今年度特に、医的ケア児の受け入れを広げ、関係機関との連携を密に図った。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0		
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0	・就学前の支援会議に、保育所や児童発達センターからの情報を得ているが、過ごしの様子を見学に行き、実際の様子を見学させてもらっている。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	2		・同一事業所内の意向であれば、随時サービス管に情報提供をしているが、他事業所へ移行される際は、相談員へ情報提供するのみに留まっているため、縦の繋がりが持てない。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	6		
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	3	5	・定期的に交流を行っているわけではないが、同一施設内に隣接し保育園がある為、保育園行事と一緒に参加させてもらう機会がある。	
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	6	2		

保護者への説明等	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・送迎時等、ご家族と会う機会にはご利用時の様子をお伝えしたり、双方の日頃の様子を話すよう心掛けている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	7		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・意志の確認が難しいご利用児には、日頃の様子を観察し、ご家族の意向と照らし合わせ支援の中に取り入れるようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	1	・面談等は行っていないが、ご家庭等の悩み等伺う機会があれば、相談支援専門員に情報提供を行い、事業所で行える支援があれば、家族支援に繋げている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	7		・開催したことが無かったが、ご家族のニーズもあり、開催に向け検討中。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	・苦情等ないが、玄関の目に触れる所に意見箱を設置し、また、苦情申し出先がすぐわかるよう掲示している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	1		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・状況に応じ、必要事項は紙面に起こし伝えるようにしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	4		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	2		・訓練は随時実施しているが、ご家族への周知が出来ていない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	1	・ご利用児の障害や発作時の対応一覧にし、施設看護師と情報共有し、必要時早急に対応出来るようにしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	5		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	・日頃の小さな出来事でもヒヤリハットに挙げる事で、お互いに気付き、再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	1	・身体拘束の状況はないが、研修等を通して常に自己、事業所点検を行い、身体拘束をしない対応に努めている。	